平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語2(English 2)			授業コード	A027666
担当教員名	津田　克巳				
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特にありません。				
受講心得	予習は必ずしてください。授業には教科書のほかにノートと辞書(電子辞書も可)をいつも持参してください。				
教科書	青木雅幸『大学生の英語基礎演習』(南雲堂)				
参考文献及び指定図書	豊永彰『英文法　ビフォー＆アフター＜改訂新版＞』(南雲堂)、吉富昇『It's Handy!』(南雲堂)、大津由紀雄『英語文法の疑問　恥ずかしくてずっと聞けなかったこと』[生活人新書119](NHK出版)、晴山陽一『新装版　晴山陽一の英語ことわざコレクション』(三修社)、『英語便利辞典』(小学館)、牧野高吉『英語の論理　日本語の心』(ちくまプリマー新書025)、バーダマン／三川基好『スヌーピーが先生！英語で話そう。』(朝日新聞社)、荒井貴一・武藤克彦『起きてから寝るまで英語表現700』(アルク)、小池直己『使える英語が5日間で身につく本』(PHP)、里中哲彦『英語の質問箱』(中公新書2086)、里中哲彦『英文法の魅力』(中公新書2165))。				
関連科目	英語1、基礎学力講座・国語、文章表現基礎講座、情報リテラシー1・2。				

授業の目的	大学の専門課程における研究のためにも、就職活動のためにも、また卒業して社会人になってからの生活のためにも、多かれ少なかれ、英語の力は必要です。したがって1年前期で「英語1」(必修)を履修し、単位を取得した後も、英語の学習は継続するjのが望ましいのですが、英語力に自信のない人はついしりごみしてしまいがちです。そこでこの「英語2」では特に英語が嫌いな人、苦手な人、不得意であると自認する人を対象とし、基礎的な英語力を養成することを目的として授業を行います。
授業の概要	前期の「英語1」からは独立した内容ですが、基本的には同じ方向を取り、自分の英語で情報を発信する能力を養成します。学生は日常的なトピックに関する短い英文を読み、質問に答えることによって学習目標が達成できます。前期と同様、英語だけで書かれた教科書を使って授業を行いますので、学生が理解不足に陥らないように丁寧に初歩的なところから説明を加え、ゆっくりとした速度で進みます。一方では学生の側における発表等による積極的な授業参加を促します。

○授業計画

学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 後期の学習についてのオリエンテーション。	復習：伝達事項をよく確認する。
第 2 週 ： Unit: 1　Introducing Yourself (1) Introductory Reading(本文を読んで問いに答えます)。	予習：本文に目を通して意味を考える。
第 3 週 ： Unit: 1 (2) Grammar Review(現在時制)。人を紹介する言い方を学びます。問いに対する答えの文の空欄を補充します。	予習：文法事項を確認し、問題文の空欄を補充する。
第 4 週 ： Unit: 1 (3) 紹介の英語の続き。空欄を補充します。	予習：問いの答えを考える。
第 5 週 ： Unit: 1 (4) 親族関係を表すのによく使われる語彙や表現を学びます。空欄を補充します。	予習：語彙や表現を自習し、空欄を補充する。
第 6 週 ： Unit: 1 (5) あなた自身についての英語による問いに英語で答えます。簡単な英語の情報発信です。	予習：英作文にトライする。
第 7 週 ： Unit: 2　My Best Friend (1) Introductory Reading(本文を読んで問いに答えます)。	予習：本文に目を通して意味を考える。
第 8 週 ： Unit: 2 (2) Grammar Review(過去時制)。自分の親友について述べる言い方を学びます。問いに対する答えの文の空欄を補充します。	予習：文法事項を確認し、問題文の空欄を補充する。

第 9 週 : Unit: 2 (3) 親友紹介の英語の続き。空欄を補充します。	予習:問いの答えを考える。
第10週 : Unit: 2 (4) 趣味や職業を述べるのによく使われる語彙や表現を学びます。空欄を補充します。	予習:語彙や表現を自習し、空欄を補充する。
第11週 : Unit: 2 (5) 親友についての英語による問いに英語で答えます。簡単な英語の情報発信です。	予習:英作文にトライする。
第12週 : Unit: 3 My Typical Day (1) Introductory Reading(本文を読んで問いに答えます)。	予習:本文に目を通して意味を考える。
第13週 : Unit: 3 (2) Grammar Review(補充疑問文)。普段の一日の生活について述べる言い方を学びます。問いに対する答えの文の空欄を補充します。	予習:文法事項を確認し、問題文の空欄を補充する。
第14週 : Unit: 3 (3) スーザンの普段の一日の生活について述べます。空欄を補充します。	予習:問いの答えを考える。
第15週 : Unit: 3 (4) 一日の行動や時間を述べるのによく使われる語彙や表現を学びます。空欄を補充します。	予習:語彙や表現を自習し、空欄を補充する。
第16週 : 期末試験 第2週から第15週までの授業内容に関する試験を行います。	予習:前週までの学習事項を確認する。

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	前期の「英語1」の単位が取れていなくても履修は可能です。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自ら積極的に英語学習に取り組む。
【知識・理解】	英語や英語圏について一般常識的なことを知っている。
【技能・表現・コミュニケーション】	簡単な英語の発音・読解・作文ができる。
【思考・判断・創造】	英語的なものの考え方、とらえ方というものを知る。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**45点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**45点**			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**5点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	